

Press Release | Tokyo Opera City Art Gallery

Press Release 2022.12.05

Sit, Down. Sit Down Please, Sphinx. : 泉太郎 Sit, Down. Sit Down Please, Sphinx. : Izumi Taro



石舞台古墳 撮影：表恒匡

泉太郎（1976-）は、2017年にパレ・ド・トーキョー（パリ）、2020年にはティンゲリー美術館（バーゼル）にて大規模な個展を開催しています。複雑で不条理なプロセスを経て立ち上がる作品は多様で一括りにはできません。東京の美術館における初の個展となる本展では、古墳や陵墓、ストライキ、再野生化、仮病、鷹狩におけるマニング（懐かせる）やフーディング（目隠し）他、数々のキーワードが絡み合う思考のプロセスと、コスプレ、キャンプ、被葬のような体験を織り交ぜ、不可知に向き合い続けるための永久機関を立ち上げます。

東京オペラシティアートギャラリーの2023年最初の展覧会として、ぜひご注目いただき、貴媒体にてご紹介いただけますと幸いです。

【開催概要】

展覧会名 Sit, Down. Sit Down Please, Sphinx. : 泉太郎
会期 2023年1月18日[水]—3月26日[日] ＊プレスプレビュー 2023年1月17日[火]予定
会場 東京オペラシティ アートギャラリー
開館時間 11:00 - 19:00 (入場は18:30まで)
休館日 月曜日(祝日の場合は翌火曜日)、2月12日(日・全館休館日)
入場料 一般1,200 [1,000]円／大・高生800 [600]円／中学生以下無料
主催 公益財団法人 東京オペラシティ文化財団
協賛 日本生命保険相互会社
協力 株式会社アイ・オー・データ機器、有限会社朝日テント商会、株式会社安曇野ミネラルウォーター、大石雅之建築設計事務所、オンリーワン陶芸教室、株式会社佐塚商事 奥多摩美術研究所、株式会社 SANKEI、全農パールライス株式会社、高田耕造商店、多摩美術大学、チャムス、筑波鉄工株式会社、日清アソシエイツ 株式会社、株式会社丸八真綿、武蔵野文化財修復研究所、有楽町アートアーバニズム YAU、株式会社 ユニテコ、YKK 株式会社 (2022年12月5日現在)
企画協力：Take Ninagawa
お問い合わせ 050-5541-8600 (ハローダイヤル)

*同時開催「収蔵品展 075 彫刻家の素描・版画」、「project N 89 川人綾」の入場料を含みます。

* [] 内は各種割引料金。障害者手帳をお持ちの方および付添1名は無料。

*割引の併用および入場料の払い戻しはできません。

【広報用画像（過去作品など）】



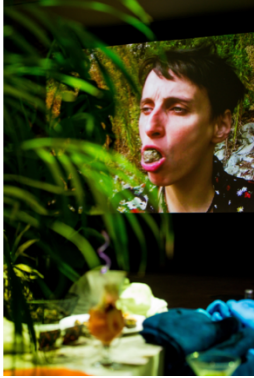
1



2



3



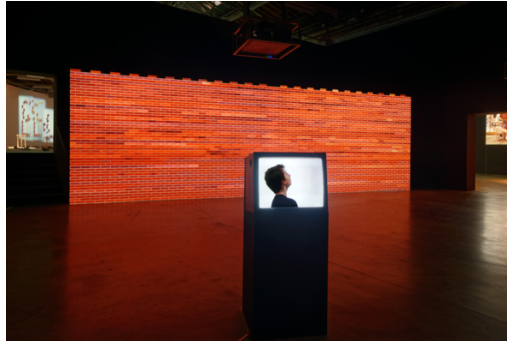
4



5



6



7



8



9



1. Cloud (pillow / raised-floor storehouse), 2020 ©2020, Museum Tinguely Photo by Taro Izumi
2. Everyday Life, Another Space Kanagawa Prefectural Gallery, Yokohama, 2009 © Taro Izumi Courtesy of Take Ninagawa, Tokyo Photo by Ken Kato
3. Installation view of "Kodoku Experiment" at Take Ninagawa, Tokyo, 2022 © Taro Izumi Courtesy of Take Ninagawa, Tokyo Photo by Kei Okano
4. Installation view of Taro Izumi "My eyes are not in the centre" at White Rainbow, London, 2018 © Taro Izumi Courtesy of White Rainbow, London, and Take Ninagawa, Tokyo Photo by Yukitaka Amemiya
5. 「泉太郎 突然の子供」展示風景 金沢21世紀美術館 撮影：表恒匡 画像提供：金沢21世紀美術館
6. Muscat juice and mud mixed and fucked, and the earth was jealous, 2018 © Taro Izumi Courtesy of Take Ninagawa, Tokyo
7. Exhibition view of Taro Izumi, << Pan >>, Palais de Tokyo. Exhibition supported by SAM Art Projects. Photo by Aurélien Mole © Taro Izumi, courtesy of Galerie Georges-Philippe & Nathalie Vallois, Paris, and Take Ninagawa, Tokyo.
8. Exhibition view of Taro Izumi, << Pan >>, Palais de Tokyo. Exhibition supported by SAM Art Projects. Photo by André Morin © Taro Izumi, courtesy of Galerie Georges-Philippe & Nathalie Vallois, Paris, and Take Ninagawa, Tokyo.
9. 新作のためのスタディ画像 撮影地：石舞台古墳（奈良県）、畝傍山東北陵（神武天皇陵）付近の森（奈良県）、日ノ出町（横浜市）、ほか 撮影：泉太郎

【泉太郎 略歴】

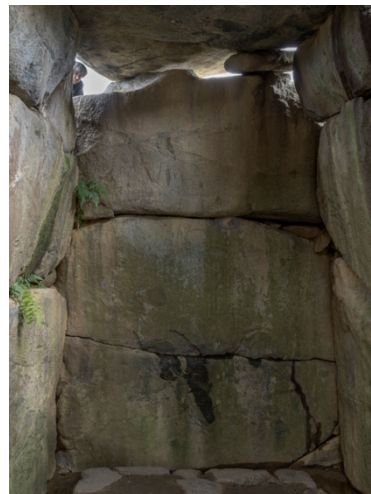
1976年奈良生まれ 現在東京都在住
2002 多摩美術大学院美術研究科 修士課程修了

主な個展

- 2022 あへつくり (CAPSULE、東京)
コドクエクスperiment (Take Ninagawa、東京)
- 2021 電源 (CAPSULE、東京)
- 2020 ex (ティンゲリー美術館、バーゼル)
コンパクトストラクチャーの夜明け (Take Ninagawa、東京)
とんぼ (Minatomachi POTLUCK BUILDING、愛知)
- 2019 スロースターター パイ セルフガイダンス (名古屋芸術大学 Art & Design Center、愛知)
- 2018 My eyes are not in the centre (White Rainbow、ロンドン)
- 2017 突然の子供 (金沢 21 世紀美術館、金沢)
←連絡 (Take Ninagawa、東京)
Night Lie (Galerie Georges-Philippe & Nathalie Vallois、パリ)
Pan (パレ・ド・トーキョー、パリ)
- 2014 No Night, Day Neither (Nassauischer Kunstverein, ヴィースバーデン (ドイツ))
- 2011 動かざる森の便利, 不便利 (玉川大学、東京)
勇ましいあくび (hiromiyoshii、東京)
- 2010 こねる (神奈川県民ホールギャラリー、横浜)
くじらのはらわた袋に隠れる, ネズミ (アサヒ・アートスクエア、東京)

主なグループ展

- 2021 Try the Video-Drawing (TAV Gallery、東京)
- 2020 コレクション 1: 越境する線描 (国立国際美術館、大阪)
- 2019 開館 15 周年記念: 現在地-未来の地図を描くために[2] (金沢 21 世紀美術館、金沢)
百年の編み手たち-流動する日本の近現代美術- (東京都現代美術館、東京)
- 2018 うごくとまる (ハラミュージアム アーク、群馬)
Visions of Exchange: Mercedes-Benz Art Scope Award 2009-2017 (Daimler Contemporary、ベルリン)
Par amour du jeu 1998-2018 (Magasins généraux、パンタン (フランス))
- 2017 In Focus: Contemporary Japan (ミネアポリス美術館、ミネソタ州)
Japanorama-1970 年以降の新しい日本のアート (ポンピドゥー・センター・メッス、メッス (フランス))
メルセデス・ベンツ アート・スコープ 2015-2017-漂泊する想像力 (原美術館、東京)
- 2016 Paradoxa. Japanese Art Today (Casa Cavazzini、ウディネ (イタリア))
- 2015 われらの時代: ポスト工業化社会の美術 (金沢 21 世紀美術館、金沢)
- 2014 開館 20 周年記念 MO T コレクション特別企画: クロニクル 1995- (東京都現代美術館、東京)
- 2013 六本木クロッシング 2013: アウト・オブ・ダウト-来たるべき風景のために (森美術館、東京)
- 2012 Voice of Images (フランソワ・ピノー財団/Palazzo Grassi、ヴェネツィア)
リアル・ジャパネスク-世界の中の日本現代美術 (国立国際美術館、大阪)
- 2011 ヨコハマトリエンナーレ 2011 OUR MAGIC HOUR-世界はどこまで知ることができるか?
(BankART Studio NYK、横浜)
- 2010 Trust: Media City Seoul 2010 (ソウル市立美術館、ソウル)
- 2009 ヴィデオを待ちながら: 映像, 60 年代から今日へ (東京国立近代美術館、東京)
- 2007 Out of the Ordinary: New Video from Japan (ロサンゼルス現代美術館、カリフォルニア州)
夏への扉-マイクロポップの時代 (水戸芸術館 現代美術ギャラリー、水戸)



■本展覧会に関するお問い合わせ

東京オペラシティ アートギャラリー 【企画】 福島直 【広報】 市川靖子、吉田明子
Tel : 03-5353-0756 / Fax : 03-5353-0776 / Email : ag-press@toccf.com